令和2年度高齢者相談センター委託法人の承認について

1. 委託法人の決定方法について

高齢者相談センターでは、平成29年度より新たに「第2層生活支援コーディネーター」1名を配置し、生活支援体制整備事業の推進に取り組んでおります。

生活支援体制整備事業の遂行に当たり最も重要なことは、地域住民との信頼関係を築き、地域の様々な団体や人材などとの顔の見える関係づくりを積み重ねる中から、地域における高齢者のニーズの把握、課題の抽出と共有、解決に向けた取組みの検討が行える場となる「協議体」を円滑に運営していくことがあります。「第2層生活支援コーディネーター」は、この中心的役割を担い地域住民主体の“通いの場づくり”や“生活上の困りごとを相互にサポートし合える仕組みづくり”などの推進役として活動し、手ごたえを感じる場面も報告されております。

このように、生活支援体制の整備に向けての取り組みには、多くの地域の理解と協力をもとに積み上げた経緯や成果があり、第7期計画期間である2020年度までの間は、同一法人による継続した運営が必要であると考えております。

委託法人の継続は、介護保険運営協議会において、高齢者相談センターの評価結果を勘案しながら委託承認の可否を審議していただき、その後、審議結果を受け、市において決定します。

2. 判断基準について

次年度への継続委託の承認を求めるに当たり、以下のとおりとした。

1 評価基準ごとに次のとおり配点する。

(A : 5点、B : 4点、C : 3点、D : 1点、E : 0点)

2 1に従い、大項目ごとに合計点を求める。その際、大項目 (I ~ VI) ごとに、満点を100点に換算して評価する。大項目ごとに60点以上を良好とする。

(評価にDがある時は、センターに対し改善計画の提出を求め、実効性のある計画か確認し判断する。Eがある時は、失格とする。)

3. 結果

上記に従い、点数化を行った結果は、【表1】のとおり。

5つのセンターとも、いずれの項目においても、全て60点以上であった。いずれのセンターにおいても評価がD又はEとなるものはなかった。

【表1】 各センター評価結果を点数化した一覧

大項目	谷津	秋津	津田沼 ・鷺沼	屋敷	東習志野
I. 運営体制と共通的基盤業務	95	96	90	91	96
II. 総合相談支援業務	98	96	89	94	99
III. 権利擁護業務	91	92	71	90	94
IV. 包括的・継続的ケアマネジメント	91	96	78	94	100
V. 介護予防ケアマネジメント	97	93	80	90	100
VI. その他の業務	96	94	92	92	100

【表2】各センター委託先法人一覧

センター名	委託先法人
谷津	社会福祉法人 慶美会
秋津	社会福祉法人 慶美会
津田沼・鷺沼	社会福祉法人 清和園
屋敷	社会福祉法人 豊立会
東習志野	社会福祉法人 八千代美香会